

2019—2020 年度クラブ運営基本理念と方針について

福岡東南ロータリークラブ

会長 佐々木 健一

<RI 会長のテーマ>

米国カルフォルニア州サンディエゴで2019年1月13日～19日の7日間開催された国際協議会でマーク・ダニエル・マローニーRI 会長エレクトから、2019—2020年度会長テーマが発表されました。

それは、次の通りです。

「ロータリーは世界をつなぐ」ロータリーの礎は「つながり」です。

若い弁護士としてシカゴにやって来た、ポール・ハリスがロータリーを創設した最大の理由は、見知らぬ街で他の人たちと「つながる」ことでした。

それから1世紀以上が経った今、私たちの周りには、ポール・ハリスの時代には想像もできなかったような友情とネットワークを築くための方法が数多く存在します。

それでも、ロータリーにおける「つながり」は独特であり、ほかに類をみません。

ロータリーがなければ出会うことがなかった人々、共通の考えをもった人々、私たちの支援を必要とする人々とつながり、世界中の地域社会で人生を変えるような活動を行う事を可能にしています。

ロータリーの未来を形作る本当の場所はクラブです。

刻々と変化する現実に対応するために、ロータリーはクラブに注力していかなければなりません。

今ではクラブのあり方をより創造的かつ柔軟性をもって決めることができます。

これには例会の方法や、なにをもって例会とするかを検討することも含まれます。

会員増強のアプローチにおいては、組織だった戦略的・革新的な方策が必要です。

そうすることで、地域社会とのより広く、深いつながりができるだけでなく、より多様な会員に魅力を感じてもらい、積極的な参加を促すことができるでしょう。

「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマの下、ロータリーの奉仕を通じ、有能で思慮深く、寛大な人々とが手を取り合い、行動を起こすための「つながり」を築いてまいりましょう。

<地区のメッセージ>

RI 会長のテーマを受けて、我が2700地区の灘谷和徳ガバナー（福岡平成）は、「不易流行～永続と変革」とされました。

「不易」；永続しずっと変わらないもの。

奉仕・親睦・多様性・リーダーシップ「流行」時代と共に変わるもの（重点事項・優先事項・年次目標）

地域社会とのつながり、人と人とのつながりといった「今を生きる人たち」のつながりを広めていく事が大前提となります。

それに加え日本のロータリーは、100周年を迎えます。

ロータリーの原点を振り返って永続すべき理念と、未来に向けて取り入れていくべき変革を皆さんと共にしっかりと考えて参りたいと思っております。

それは「正解」を見つける作業ではなく、ロータリーをしっかりと考える作業です。

そういう意味で、これは「過去と現在と未来をつなぐ」作業であると言えます。

これらの提言を踏まえて、2019-2020年度福岡東南ロータリークラブ会長としての方針を発表させていただきます。

今年のテーマは「倦まず・弛まず・立ち止まらず」

<重点事項>

- 1・会員基盤の強化、80名確保
- 2・50周年記念式典の開催
- 3・海外クラブとの姉妹クラブ締結
- 4・ネパールプロジェクトGGの事業推進

今年は改元の年、令和時代の幕開けであります。昭和45年2月6日に我々クラブが誕生して、50周年を迎えるという大きな節目の年になります。

又、その50周年を記念して、当クラブとして、初めての海外クラブとの姉妹提携やグローバル補助金を使って行うネパールプロジェクトが、実現できるかもしれない、重要な年度に会長に御指名頂き、感激すると共に身の引き締まる思いであります。

我がクラブのこれまでの50年を振り返り、先輩たちが築き上げた、地域社会とのつながり、人と人とのつながり等、良いところはしっかりと継承しながら、変えるべきところは変え、時代に合った、より一層魅力あるクラブになるよう活動できればと思っています。

私のロータリー暦は15年近くなりますが、ロータリーの事はほとんど理解できておらず、分からないことばかりですが、そんな私にも唯一理解でき行動出来ることがあります。

それは会員を一人でも増やす努力をすることです。

会員全員に訴え、皆さんと力合わせて、行動するリーダーになればと思っています。

会員数は、平成の初め頃から見ると減少傾向にあります。

ロータリーの原点である、人と人をつなぐを大切に、思いやりあふれ、未来を感じさせる福岡東南ロータリークラブになれば、参加してみたいと思われるクラブに育っていくのではとも考えています。

更に私に出来そうな事が、もうひとつあります。

全会員との親睦の強化であります。

会員相互の交流を大切に、明るく愉快地にクラブライフを楽しく過ごせるように頑張りたいと思います。地区ガバナーのテーマにも「永続と変革」とあります。

「永続しずっと変わらないもの」「時代と共に変わるもの」と言われています。

私たちも固定観念にとらわれず、変えるべきものは変えていく勇氣、融通無碍に発想することが大切であります。

そこで、今年度のテーマは、「倦まず、弛まず、立ち止まらず」百折不撓の精神で、挑戦してみたいと考えています。

何があっても、気を緩めたり、途中で投げ出したり、怠けたりせず、最後まで立ち止まらず取り組み続ける、私の覚悟をテーマに表現させて頂きました。

クラブの会長経験者をはじめとした緒先輩の方々、また、会員のみなさま、事務局のみなさま、頼りない会長ですが、どうぞ宜しくご協力を心からお願い申し上げます。